

## 第2回秋田市マイタウン・バス南部線 雄和地域運行協議会議事要旨

開催の日時	平成22年9月11日(土) 午後2時30分～午後4時50分
開催の場所	秋田市雄和地域活動センター 第2会議室
委員数	16名
出席委員	10名
議事	(1) 乗車体験について (2) マイタウン・バス南部線雄和地域利用者アンケートについて (3) マイタウン・バス南部線雄和地域全戸アンケートについて
事務局	1 開会 2 先進事例の紹介 3 議事
会長	挨拶 議題に入る。(1) 乗車体験について、実際に乗車した委員から感想を伺いたい。
委員	Bコースの大回り線に乗ったが、市民センターから大正寺まで通常であれば30分ほどで行けるのに、枝線に入るため1時間近くかかり、また、乗客も少なかった。 バスの設備が路線バスとは違うと感じた。 運転手に話を聞いたが、乗る人がいない枝線になぜ行くのかと乗客に怒られたこともあると言っていた。
委員	乗客が若い女性1人で夕方薄暗くなってから枝線に入っていくと、どこかに連れて行かれるのかと不安に思ったと客に言われたと話す運転手もいた。 土日の最終便が早いと感じた。大正寺地区であれば、15時以降四ツ小屋駅方面に行けなくなる。 また、Bコースで沖村を周回しているが、あのくらいの距離であれば、幹線のバス停まで出て来てもらってもよいのではないか。四ツ小屋の中は利用者があまりいないと思うので、沖村を通るのであればそのまま空

		<p>港道路に抜けて四ツ小屋駅にむかった方が距離も短くなるのではない か。種沢地区でも山王堂に入らず、幹線沿いだけでもよいと感じた。 四ツ小屋駅ではなく新都市交通広場（御所野）で乗り継ぎできれば便利 になると思う。</p>
委 員	員	<p>朝の通勤・通学の利用者がどのくらいいるか知りたくてその時間帯に乗 って見たが、乗客は3人しかいなかった。四ツ小屋駅で降りたおばあさ んが、乗り継ぐバスがないため、仁井田の方に歩いて行った。 学生は家の人に送迎してもらい、JRに乗って行った。せっかく電車と の乗り継ぎを考慮して四ツ小屋駅を乗り継ぎ地点と決めたのに、意味が あるのかと感じた。 帰りは温泉に行くために利用する人がどのくらいいるかと思い乗った が、5人ほど利用していた。 路線バスの秋田駅行きの表示が路線毎で異なり、わかりずらかった。 また、四ツ小屋駅で路線バスに乗り継ぐため待っている人は、路線バス が四ツ小屋駅始発ではないので、不安なのではないかとも感じた。</p>
委 員	員	<p>Aコースの安養寺・湯野目方面を周回するのはどうにかならないかと思 った。 樺川のバス停を2回通るため、利用者は2回目の通過時間に合わせてい るようで、周回している間運転手がだいぶ時間を気にしながら運転して いるのが見られた。</p>
委 員	員	<p>利用者は高齢者が多い。確かに幹線を走れば目的地に早く着けるとは思 うが、枝線から通院のために乗る高齢者もいるため、やはり枝線にも入 るべきではないかと思う。</p>
委 員	員	<p>私はAコースの沿線に住んでおり、今迄乗ったことのないBコースに乗 って見たが、雄和地域がこんなに広がったのかと感じた。 マイタウン・バスになってから多いときで週3回、少なくとも週1回は 利用しているが、安養寺・黒瀬、湯野目から乗車した人は1人もいなか った。10年ほど前に黒瀬の高校生がいたが、橋を渡って樺川のバス停 から乗っていたことを記憶している。 日赤病院に行くときは乗合タクシーを利用しているが、その様な所は乗 合タクシー等にすれば効率がよくなるのではないかと思う。</p>
会 務 局	長	<p>次に議事（2）利用者アンケート結果についてと（3）全戸アンケート 結果について事務局から説明願う。</p>
会 務 局	局	<p>（資料に沿って説明）</p>

会 長	この結果から課題を挙げていただきたい。 まず、四ツ小屋駅から先（秋田駅方面）には行けないものか、住民の意見があればそれが可能になるのか確認したい。
事 務 局	競合の問題もあるが、住民の意見があれば後押しとなる。
委 員	延伸については、他のマイタウン・バス運行地域でも要望はある。 14、5年後には3人に1人が65歳以上になるという予測も出ており、市としても高齢者の利用が多く、アンケート結果でも多く出ている日赤病院までは延伸したいと考えており、バス事業者と協議を進めているところである。
会 長	地元の熱意があればということか。
事 務 局	この協議会で提言していただければ、今後協議していく上でも追い風にはなる。
委 員	アンケート結果から、旧大正寺線のように幹線のみを運行し、日赤病院や秋田駅まで行ければもっと利用が増えるのではないか。 地域の意見として、旧秋田市内への乗り入れを要望したい。 地域住民が一番心配しているのは、今後高齢となり自家用車を運転できなくなれば公共交通を利用しなければならない。その時に地域の足としてバスがなければ困る。利用率を上げて、公共交通として残していかなければいけないと思う。 1カ月に数人しか利用しないような路線やバス停の見直しや、車両もマイクロバスでよいのか等も検討すべきではないか。
委 員	車両を小さくしても、運行経費はあまり変わらない。 ただ、土日であれば1日3～4人しか利用しないこともある。
委 員	日赤病院に行きたい人は市民センターに集ってもらい、日赤病院へ直行すれば、競合にはならないのではないか。
委 員	直接行っても競合にあたる。
委 員	利用者の中に、アンケートをとっても何も変わらないのではないかというあきらめムードもある。 この場である程度の結論を出さなければならないのではないか。

会	長	これまでの意見を集約すると、秋田駅まで延伸してもらいたいというのが一番の希望のようだが。	
委	員	基本は幹線を運行する。利用頻度の低い枝線の利用者は、高齢で更に足腰が悪く、バスへの乗り降りも大変だと思う。そうであればなおさら予約式の小型車両等で幹線の沿線まで運行するということではできないか。	
委	員	秋田駅へ延伸というのが一番よいが、JRと乗り継ぎする人がほとんどいない現状で、四ツ小屋駅を中継点にする意味があるのか。それよりも、市民センターで乗り継ぎしたほうがよいのではないか。	
会	長	河辺では予約式がとられていると聞いているが。	
事	務	局	河辺のBコースは予約式のジャンボタクシーで運行している。 1週約32kmの周回コースで、予約のあった所だけに行くという形態としており、運行距離は3分の1程度に圧縮できている。 しかし、雄和地域の場合その様に周回が必要な地区が複数あるため、なかなか難しいと思う。
委	員	その地区から何人利用したかというデータは毎日とってないのか。	
委	員	便毎は毎日集計しているが、地区ごとのデータはない。1カ月間だけ枝線のバス停の乗降車を調査したものはある。 乗合タクシーの話が出たが、当然車両を増やさなければならず、枝線を考えると複数台必要になる。	
委	員	経費の削減にはならないということか。	
委	員	アンケート結果にもあるが、利用者が高齢のため四ツ小屋駅のホームへの階段の上り下りが大変なため、路線バスに乗り継ぐ人が多いようだ。	
委	員	秋田駅までの延伸を希望しているが、全便秋田駅までと言うのは困難であろう。例えば曜日毎に近所の人連れ立って乗合タクシーを利用する等、地域の人も協力して市民の足を守っていかなければならない。	
会	長	やはり旧大正寺線・種平線に戻して幹線のみを現在のマイクロバスで運行し、枝線はデマンド方式の予約制にしたほうがよいと思う。利用者数からすれば、車両も小型3台もあれば十分なのではないか。	
委	員	経費は逆にかかり増しになるのではないか。	

委員	今後10年もすれば、運転免許返納などで枝線の沿線でバスを利用しなければならなくなる人のほうが多くなるかもしれない。 黒瀬・湯野目地区はスクールバスがないため、マイタウン・バスがなくなると困ると聞いている。
委員	秋田駅までの延伸という希望はあるが、逆に路線バスを雄和市民センターまで延伸してもらい、地域内をマイタウン・バスで運行するという方法はできないものか。
委員	そもそもバス事業者が採算がとれないから廃止して、今の運行形態に変わったはず。
事務局	アンケート結果で乗り継ぎがないほうがよいと出ているが。
委員	ここでいう乗り継ぎは四ツ小屋駅でのことであろう。 雄和市民センターでの乗り継ぎは、苦にならないと思う。
委員	四ツ小屋に行っても乗り継ぎ時間が合わなく、待ち時間があるから不便と感じているのではないか。
委員	四ツ小屋駅は昔と比べ周りに民家も少なくなり、だいぶ環境が変わっていた。
委員	市民センターでの乗り継ぎであれば、公民館もあり、トイレも使える。やはり四ツ小屋駅では不安を感じる。それが乗り継ぎの不便さというアンケート結果に表れているのではないか。
委員	一度に要望を出しても難しいと思うので、まず秋田駅までの延伸ということでよいのではないか。それで利用が増えれば、また別の課題に向かえばよいのではないか。
事務局	競合の問題、経費の問題等あるため、延伸するにしても時間がかかる。御所野、日赤病院を經由して駅までという意見もあれば、有楽町方面への利用者もいる。両方をマイタウン・バスでカバーすることは困難なので、路線バスとの共存ということも考えていかなければならないと思っている。
委員	それであれば、まず御所野までの延伸を考えてはどうか。

委 員	それよりも路線を見直してはどうか。それが一番簡単にできるのではないか。何度も意見が出てきているが、幹線をメインに走る路線にするというのがアンケート結果を見ても必要だと思う。
委 員	いきなり枝線を切るのはいかがかと思う。まず路線の延長の方を優先すべきだ。利用者が少なければ見直すなど住民に周知した上で行わなければ反発される。
会 長	まず、四ツ小屋駅から御所野までの延伸を提言としたいがどうか。
委 員	御所野であれば、日赤病院方面行きの路線バスが20～30分間隔で運行しているし、乗り継ぎの待ち時間は少なくなる。 牛島・秋田駅方面への便もあるので、よいと思う・
委 員	御所野までも難しいようであれば、四ツ小屋駅を通る路線バスの本数を増やしてもらうか、マイタウン・バスの時刻と合わせてもらうか、路線バス事業者に要望してみてもどうか。
会 長	運行開始前の公共交通研究会では、マイタウン・バスとの乗り継ぎには配慮するという路線バス事業者の約束もあった。 地域内の路線の見直しについては今後も引き続き協議していくこととし、そのための利用者数の調査等をお願いしたい。 その上で、枝線について考えればよい。
委 員	枝線の全面廃止ではなく、利用状況を見ながら曜日運行等の方法も考えていけばよい。
委 員	幹線のみ運行に変えたからといって、利用が増えるとも限らない。
委 員	いずれにしてもまだ時期尚早と考える。
会 長	今回は「御所野までの延伸」と「四ツ小屋駅での路線バスとの乗り継ぎ」を提言する。
事 務 局	利用者数等のデータ収集については、事業者と協議して可能な限り対応する。

—協議会終了—